

第4回 π 造形若手会に参加して

東北大学 芥川研究室 川崎 渉

略歴

2017年 東北大学工学部 卒業

2017年 東北大学大学院工学研究科博士前期課程 入学

趣味：茶道、読書



2017年12月15-16日に横浜研修センター(神奈川県横浜市)で開催された「第4回 π 造形若手研究会」に参加させて頂きました。今回、私は博士課程の進学を希望していることもあり、指導教官である芥川先生から「とりあえず、行っておいで」とのお言葉を頂き、初参加することになりました。

これまでに「 π 造形」の行事では、運営のお手伝いも含めて、第3回公開シンポジウムや第4回国際シンポジウムに参加させて頂きました。第3回公開シンポジウムの頃は、講演をお聞きしていても自身の知識が不足分らないことだらけでしたが、回を重ねるごとに「分からないけれどなんとなく面白い」と感じ方が変わってきました。博士課程後期に進んでさらに知識を深めれば、講演の内容が理解できるようになり、さらに面白くなるかもしれないと考えたのが、博士への進学を決めた理由の一つであったため、今回の若手研究会も非常に楽しみにしていました。

今回の若手会の講演をお聞きしていて、京都大学の中野先生をはじめ、人と人とのつながりが研究を進める上で重要になるというのが印象的でした。実際に以前の π 造形シンポジウムの際にお会いした先生がポスターを聴きに來てくださり、私の研究に関して他分野からの意見を頂くことが出来ました。また、ポスター発表の際は互いに質問しやすい雰囲気、知らない測定法や実験手法についてお聞きして学ぶことが出来ました。

懇親会では、いろいろな方と話しやすい雰囲気があり、他研究室の学生の方々と懇親を深めることが出来ました。博士進学予定の学生の方も多くいらっしゃり、研究の進め方や研究室の様子をお聞きして、とても刺激を受けました。楽しく有意義な2日間を過ごさせて頂き誠にありがとうございました。末筆ながら、今回、このような貴重な機会を与えて下さいました π 造形若手会役員の皆様および関係者の皆様に御礼申し上げます。